

我が家家の防災対策

地震発生時の行動マニュアル

防災・安全

もしもの時に備えて!

もしもの時に備えて、
家族で事前に確認

しておきましょう

風水害時の行動マニュアル

避難先について

避難先は、避難所だけではありません。安全な親戚・知人宅も避難先の選択肢となります。また、自宅が浸水しなければ、自宅が避難先になります。



正確な情報の入手方法

実際に避難所が設置される際には、ホームページやエリアメールなどで開設状況を情報提供します。また、テレビでもデータ放送を利用して避難所の開設状況が把握できます。河川の情報も同様にお伝えします。



防災行政無線の避難放送について

風が強いと防災行政無線の内容が聞き取れませんので、警戒レベル4(全員避難)になった地域では、サイレンのみ鳴らします。



避難行動は早めに

避難の原則は、徒歩ですが、やむをえず車で避難する場合は、明るいうち、風雨が強くならないうちに避難することが、「安全な避難」につながります。風雨が強くなってからは、道路が冠水する可能性があり、事故を起こす確率が高くなります。



ペットの同行避難について

飼い主は、ペットの同行避難が基本となります。町のペット対応施設を開設した場合は、管理の観点から「ケージに入っていること」を避難所に入る条件とします。



体の不自由な方は早めの避難を

町の避難先の施設では、エレベーターなどがある施設も限られているため、高齢の方や障がいのある方など、避難に時間がかかる方は、早めの避難をしてください。



事前にマイ・タイムラインを作りましょう

マイ・タイムライン(行動計画表)を作つて目に留まる場所(トイレのドアなど)に置いておくことで、日常的に避難計画を確認できます。



避難の際に必要なものは各自で準備

開設される避難所は、自主避難所であり、基本的に食料や毛布は提供していないからです。お持ちの方は、レジャーシートや座布団などもご持参ください。



避難のタイミングを逃した場合は

自宅が2階建て以上の方は、室内でできるだけ高いところにいるようにしてください。自宅が平屋の方(自宅が2階建て以上の方も必要に応じて)は、安全に歩いて行ける範囲で自宅よりできるだけ高い建物へ避難してください。

